平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名　株式会社 ヤマノホールディングス　　上場取引所　東
コード番号　7571　URL　http://www.yamano-hd.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者　(氏名) 山野　義友
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長兼財務経理部長　(氏名) 岡田　充弘　TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日　平成25年11月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(平成25年11月14日開催予定 機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,568	6.4	81	△10.5	51	△24.5	△52	―
25年3月期第2四半期	10,873	△3.1	91	60.2	68	101.7	105	―

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　△28百万円　(―%)　25年3月期第2四半期　116百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△1.74	―
25年3月期第2四半期	2.84	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	11,006	2,544	8.1	19.69
25年3月期	11,664	2,763	9.3	21.09

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　895百万円　25年3月期　1,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	1.50	1.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,600	3.8	540	5.0	510	5.6	300	△28.1	8.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 有
新規 ―社 （社名） 、 除外 1社 （社名） タケオニシダ・ジャパン株式会社
(注)詳細は、4ページの2. サマリー情報(注記事項)に関する事項「(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧下さい。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	34,497,058 株	25年3月期	34,497,058 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	15,966 株	25年3月期	15,966 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	34,481,092 株	25年3月期2Q	34,481,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
・当社は、決算補足説明資料及び動画による決算説明を、この決算説明会開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……12
（継続企業の前提に関する注記） ……12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……12
（セグメント情報等） ……13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済対策などによる株価回復を背景にした消費者マインドの改善効果が現れ景況感に明るい兆しが見られる一方、所得環境の改善の遅れに加え、海外経済の下振れや円安からくる原材料価格やエネルギーコストの高騰が進みプラスマイナスの両面が並存する経済環境となりました。

当社グループが属する業界におきましては、高額消費に明るさはあるものの、生活必需品に対する節約志向の継続、価格競争など業種業態を超えた販売競争の激化など、依然として厳しい状況で推移いたしました。

そのような状況のもと、当社グループでは、従来より推進しております「ソフトと価値の提供」をテーマとした商品以外のサービス・満足の提供を目指した施策に加え、人財育成と採用の強化、他社との提携の推進、好調事業の拡大・強化に努めてまいりました。

好調事業の拡大・強化策としては、平成25年４月１日付で、関東・九州地区を中心に和装用品専門店24店舗を展開する株式会社ら・たんす山野の株式を取得し連結子会社といたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は115億68百万円（前年同四半期比6.4％増）となりましたが、利益面では、子会社株式の取得によるのれん償却費の発生や美容事業を営む子会社の決算期を２月から３月に変更したことに伴う上半期の減益影響等により、営業利益は81百万円（前年同四半期比10.5％減）となりました。経常利益については、平成25年９月26日付シンジケートローン契約締結によるアレンジメントフィー等を営業外費用に計上したことにより51百万円（前年同四半期比24.5％減）となり、子会社の固定資産売却に関連した減損損失を計上したことや前年同四半期の法人税等の更正、決定等による還付税額がなくなったことなどにより、四半期純損失は52百万円（前年同四半期は四半期純利益１億５百万円）の減益となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、平成25年４月１日付のグループ内の組織再編に伴い、セグメントの管理区分を見直したことにより、記載する事業セグメント区分の変更又は名称の変更を行っております。前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「第４ 経理の状況 １ 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」の「２．報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

1）「美容事業」

美容事業につきましては、競合店の増加傾向が継続していることに加えてサービスメニューの多様化など、他社との差別化が非常に困難である状況のもと、ターゲットを明確化した店舗設計である「ファミリーサロン」「アンチエイジングサロン」への店舗改修や、スタイリストの技術力向上のための講習プログラムの策定・実施を推進しております。

店舗展開におきましては、商圏や来店客動向の検証に基づいた既存店舗のスクラップ・アンド・ビルドとして、「ファミリーサロン」へのリニューアルを１店舗、「アンチエイジングサロン」へのリニューアルを７店舗実施、８店舗の閉店・統合を実施いたしました。この結果、平成25年９月30日現在の店舗数は、直営111店舗、ＦＣ５店舗となっております。

また人財育成強化策としましては、学校法人山野学苑「山野美容芸術短期大学」との連携によるプロフェッショナルスタイリスト向け講習プログラムを策定し、スタートさせております。更に、和装・アパレル事業と連携して着付技術取得者の増員・強化を図り、浴衣着付けサービスを積極的に展開して需要を喚起しました。この結果、浴衣着付けサービスの獲得件数は前年同期比で214％となりました。

しかしながら、美容事業は決算期を２月末日から３月末日に変更したことに伴い最も収益の高い３月度が当第２四半期連結累計期間の対象外となったことや、店舗数減少の影響により、売上高は13億66百万円（前年同四半期比7.3％減）となり、セグメント利益は43百万円（前年同四半期比63.9％減）となりました。

2) 「スポーツ事業」

スポーツ事業につきましては、専門店ならではの商品提案力強化、体験サービスイベントの開催、他社とのサービス提携等を積極的に推進しております。

当第２四半期連結累計期間におきましては、４店舗のリニューアルを実施し、昨今の健康志向の高まりに対応するべく、美と健康をテーマにした「ヘルス＆ビューティ部門」の売場拡充を図っております。なお、平成25年９月30日現在の店舗数は18店舗となっております。

他社とのコラボとしましては、広島県下に200万人超の会員様を有する株式会社和多利の「Wポイントカード」とポイントサービス提携を新たに開始いたしました。より生活に密着した地域顧客のニーズを取り込むことによる利便性向上により、他社との差別化を図っております。

また登山研修やダイビング研修等を８回実施するなど、体験を通じた実践的な専門知識の習得と商品提案力の強化に努めております。

この結果、スポーツ事業の売上高は17億30百万円（前年同四半期比0.6%増）となり、セグメント損失76百万円（前年同四半期はセグメント損失86百万円）となりました。

3) 「ＤＳＭ事業」

ＤＳＭ事業につきましては、ミシン点検サービスや布団の丸洗いクリーニングなどのサービス機能を拡充し、催事集客強化による販売施策を行っております。

当第２四半期連結累計期間は、大型催事である「きものパーティ」や、ミシンによる物づくりの場「ミシンフェア」など、お買い物以外の顧客ニーズに応える催事を継続的に開催する一方で、買い物の場が減少してしまった地方の顧客に対して、各ショップにて洋装品を中心にしたトータルファッションのミニ展示会を積極的に開催し、商品提案の場を広げる施策を行っております。

また、事業所の統廃合を要因とした販売員減少に対応するため、販売員紹介キャンペーンを実施しているほか、統合ショップでのナレッジ共有を推進しており、訪問販売から催事への集客販売への移行を図るなど、売上高の確保と収益力向上に努めております。なお、平成25年９月30日現在の店舗数は83店舗となっております。

この結果、ＤＳＭ事業の売上高は16億７百万円（前年同四半期比6.8%減）となり、セグメント利益63百万円（前年同四半期比24.9%増）となりました。

4) 「和装・アパレル事業」

「和装・アパレル事業」は、セグメント区分の変更及び名称の変更を行っております。

当社グループの和装・洋装小売事業の効率化・強化を図るため、卸売事業に含まれていた洋装小売部門を和装事業へ移管し、セグメント区分の変更を行ったことに伴い、セグメント名称を「和装事業」から「和装・アパレル事業」へ変更しております。

当第２四半期連結累計期間においては、和装小売店舗を展開する株式会社ら・たんす山野の株式を取得し連結子会社化、また１店舗の新規出店を実施し、業容拡大を図っております。

また、平成25年４月１日付グループ内再編により洋装小売店舗を卸売事業から移管、店舗運営及び人財採用・育成のノウハウを集約することにより、小売店舗事業の管理効率化を推進しております。この結果、平成25年９月30日現在の店舗数は、和装小売店舗が64店舗、洋装小売店舗が10店舗となっております。

また人財育成策としては、各店舗での販売力向上及び平準化を目指した「ステップアップガイドライン」を導入し、現場を含めた組織的な人財育成環境づくりに努めております。

この結果、和装・アパレル事業の売上高は27億７百万円（前年同四半期比66.5%増）となり、セグメント利益１億６百万円（前年同四半期比97.3%増）となりました。

5) 「卸売事業」

「卸売事業」は、セグメント区分の変更を行っております。

洋装小売店舗部門を和装・洋装事業へ移管しております。

卸売事業につきましては、百貨店における売場コーナー化の推進に向けた施策を実施しております。当第２四半期連結累計期間においては、タケオニシダの新ブランド「ＬＡＤＹ　ＮＩＳＨＩＤＡ」の直営店を新規出店しブランドビジネスの拡大を推進しております。なお、平成25年９月30日現在のタケオニシダ直営店の店舗数は18店舗となっております。

この結果、卸売事業の売上高は31億85百万円（前年同四半期比8.6％減）となり、セグメント損失16百万円（前年同四半期はセグメント利益３百万円）となりました。

6）「宝飾事業」

宝飾事業につきましては、店外大型催事への参加や店頭催事の絞込みなど事業効率の向上に努めてまいりました。

当第２四半期連結累計期間においては、店外大型催事の参加店増などにより売上高の確保に努めてまいりました。平成25年９月30日現在の店舗数は、１店舗閉鎖し29店舗となっております。

この結果、宝飾事業の売上高は７億22百万円（前年同四半期比44.1％増）となり、セグメント損失４百万円（前年同四半期はセグメント利益２百万円）となりました。

7）「その他の事業」

その他の事業の事業内容は、主に堀田（上海）貿易有限公司の意匠撚糸の販売、かねもり事業部の代理店を通じた呉服等を中心とした催事販売、株式会社ヤマノセイビングの前払式特定取引業による手数料収益であります。

その他の事業の売上高は、連結子会社の皇家科世夢股份有限公司の事業譲渡等により、２億48百万円（前年同四半期比27.2％減）となり、セグメント損失21百万円（前年同四半期はセグメント損失16百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ６億58百万円減少し110億６百万円となりました。これは、主に流動資産においては現金及び預金が７億45百万円減少、受取手形及び売掛金が２億69百万円減少し、商品及び製品が４億４百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ４億39百万円減少し84億62百万円となりました。これは、主に長期借入金が17億77百万円増加、前受金３億３百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が３億32百万円減少、短期借入金が19億53百万円減少、未払金が１億74百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ２億18百万円減少し25億44百万円となりました。これは、主にこれは主に剰余金の配当46百万円、優先株式（自己株式）の消却102百万円、四半期純損失52百万円によるものであります。

なお、平成25年６月27日開催の定時株主総会の決議に基づき平成25年８月１日付で減資を実施したことにより、資本金1億55百万円及び資本準備金1億55百万円が各々減少し、その他資本剰余金が３億11百万円増加しております。

第２四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失が12百万円となり、前年同四半期連結会計期間末に比べ４億７百万円減少し11億69百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は、８億２百万円（前年同四半期は23百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失12百万円に対し、売上債権の減少額４億76百万円、前連結会計年度末が休日であったことになどによる仕入債務の減少６億92百万円、利息の支払額33百万円、法人税等の支払額１億30百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、３億50百万円（前年同四半期は２億８百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入１億87百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入１億42百万円、敷金・保証金の回収による収入46百万円、有形固定資産の取得による支出61百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、２億35百万円（前年同四半期は４百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金による収入19億30百万円、短期借入金の減少18億93百万円、長期借入金の返済による支出81百万円、自己株式の取得による支出102百万円、配当金の支払額46百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の通期業績予想につきましては、前回（平成25年５月15日付「平成25年３月期決算短信」にて公表しております。）の内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第１四半期連結会計期間において、従来、連結子会社であったタケオニシダ・ジャパン株式会社は、平成25年４月１日付で連結子会社の堀田丸正株式会社を存続会社とする吸収合併により解散いたしました。

なお、平成25年４月１日付で株式取得した株式会社ら・たんす山野を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,411,013	1,665,962
受取手形及び売掛金	2,714,594	2,445,282
商品及び製品	2,737,735	3,142,105
仕掛品	17,595	32,298
原材料及び貯蔵品	53,174	56,364
繰延税金資産	47,122	47,122
その他	248,813	282,553
貸倒引当金	△89,446	△78,506
流動資産合計	8,140,604	7,593,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,777,418	1,659,979
減価償却累計額	△1,176,935	△1,141,448
建物及び構築物（純額）	600,482	518,531
機械装置及び運搬具	32,720	32,720
減価償却累計額	△31,662	△31,787
機械装置及び運搬具（純額）	1,057	932
工具、器具及び備品	628,636	634,234
減価償却累計額	△584,535	△590,888
工具、器具及び備品（純額）	44,100	43,345
土地	831,413	745,199
リース資産	26,707	26,707
減価償却累計額	△9,443	△12,210
リース資産（純額）	17,263	14,496
有形固定資産合計	1,494,318	1,322,505
無形固定資産		
のれん	193,450	220,965
その他	57,198	51,925
無形固定資産合計	250,648	272,890
投資その他の資産		
投資有価証券	137,892	149,297
長期貸付金	46,209	22,152
敷金及び保証金	1,446,787	1,478,702
その他	414,079	411,109
貸倒引当金	△266,140	△243,615
投資その他の資産合計	1,778,828	1,817,646
固定資産合計	3,523,794	3,413,043
資産合計	11,664,399	11,006,225

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,557,168	3,224,463
短期借入金	2,095,423	142,000
1年内返済予定の長期借入金	111,324	181,920
未払金	744,578	570,009
前受金	973,729	1,277,123
未払法人税等	142,437	42,036
賞与引当金	13,600	3,000
返品調整引当金	15,139	10,557
ポイント引当金	57,529	55,243
株主優待引当金	2,327	2,327
その他	517,346	517,139
流動負債合計	8,230,603	6,025,820
固定負債		
長期借入金	169,780	1,947,440
長期未払金	257,438	251,077
繰延税金負債	9,599	14,040
資産除去債務	166,396	169,993
負ののれん	6,582	2,633
その他	60,866	51,002
固定負債合計	670,662	2,436,187
負債合計	8,901,265	8,462,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,565	100,000
資本剰余金	156,825	209,883
利益剰余金	720,134	621,154
自己株式	△3,019	△3,019
株主資本合計	1,129,505	928,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,824	11,221
為替換算調整勘定	△52,365	△43,885
その他の包括利益累計額合計	△44,540	△32,663
少数株主持分	1,678,168	1,648,860
純資産合計	2,763,133	2,544,217
負債純資産合計	11,664,399	11,006,225

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	10,873,081	11,568,107
売上原価	6,383,779	6,780,468
売上総利益	4,489,301	4,787,638
販売費及び一般管理費	4,398,067	4,705,980
営業利益	91,234	81,658
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,719	3,562
受取地代家賃	10,242	10,157
協賛金収入	6,845	6,229
負ののれん償却額	3,991	4,008
その他	34,789	24,374
営業外収益合計	59,588	48,332
営業外費用		
支払利息	43,649	37,838
手形売却損	642	924
貸倒引当金繰入額	23,076	－
支払手数料	－	24,460
その他	14,959	15,056
営業外費用合計	82,328	78,280
経常利益	68,494	51,709
特別利益		
固定資産売却益	135	－
関係会社株式売却益	21,700	－
貸倒引当金戻入額	61,105	－
その他	385	－
特別利益合計	83,326	－
特別損失		
固定資産売却損	－	873
固定資産除却損	9,195	6,724
減損損失	8,083	40,901
投資有価証券評価損	788	－
店舗閉鎖損失	6,436	6,152
アドバイザリー手数料	23,057	－
その他	21,671	9,961
特別損失合計	69,232	64,614
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	82,588	△12,904
法人税、住民税及び事業税	73,288	34,512
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△113,738	－
法人税等合計	△40,450	34,512
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	123,037	△47,417
少数株主利益	17,311	4,764
四半期純利益又は四半期純損失（△）	105,725	△52,181

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	123,037	△47,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,550	6,086
為替換算調整勘定	△3,047	12,543
その他の包括利益合計	△6,597	18,629
四半期包括利益	116,439	△28,787
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,853	△41,007
少数株主に係る四半期包括利益	16,586	12,220

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	82,588	△12,904
減価償却費	64,843	57,313
減損損失	8,083	40,901
のれん償却額	3,650	28,660
負ののれん償却額	△3,991	△4,008
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△8,748	△4,582
賞与引当金の増減額（△は減少）	△7,690	△10,600
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△10,198	△2,285
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△377,170	△17,446
受取利息及び受取配当金	△3,719	△3,562
支払利息	43,649	37,838
手形売却損	642	924
関係会社株式売却損益（△は益）	△21,700	―
有形固定資産除却損	9,195	6,724
有形固定資産売却損益（△は益）	△135	873
投資有価証券評価損益（△は益）	788	―
売上債権の増減額（△は増加）	343,604	476,131
たな卸資産の増減額（△は増加）	△185,712	△227,689
仕入債務の増減額（△は減少）	△45,114	△692,734
前受金の増減額（△は減少）	△37,031	5,351
その他	175,935	△320,126
小計	31,768	△641,221
利息及び配当金の受取額	3,574	3,566
利息の支払額	△70,452	△33,588
手形売却に伴う支払額	△642	△924
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	58,822	△130,420
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,071	△802,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△59,340	△61,602
有形固定資産の売却による収入	7,049	187,613
無形固定資産の取得による支出	△7,050	△1,590
投資有価証券の取得による支出	△813	△877
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	―	142,255
子会社株式の取得による支出	△219,000	―
子会社株式の売却による収入	21,700	―
貸付けによる支出	△5,356	△428
貸付金の回収による収入	19,790	3,429
敷金及び保証金の差入による支出	△34,111	△20,518
差入保証金の回収による収入	79,717	46,742
担保預金の増減額（△は増加）	△13,025	59,935
その他	2,359	△4,905
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,079	350,055

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△6,125	△1,893,423
長期借入れによる収入	219,000	1,930,000
長期借入金の返済による支出	△86,244	△81,744
社債の償還による支出	△111,250	－
自己株式の取得による支出	－	△102,506
配当金の支払額	－	△46,797
少数株主への配当金の支払額	△20,280	△40,554
子会社の自己株式の取得による支出	△95	△181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,996	△235,208
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,447	2,626
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△191,452	△685,115
現金及び現金同等物の期首残高	1,768,867	1,854,694
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,577,415	1,169,579

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．配当に関する事項

該当事項はありません。

２．株主資本の著しい変動

平成24年６月28日開催の定時株主総会決議により、平成24年８月１日付で会社法第447条第１項及び第448条第１項の規定に基づき、資本金及び資本準備金を減少させ、その他資本剰余金に振替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。この結果、資本金が1,347,356千円、資本準備金が561,020千円減少し、当第２四半期会計期間末において資本金が255,565千円、資本準備金が155,565千円となっております。

当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

１．配当の支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日定時株主総会	Ａ種優先株式	15,041	15,041,000	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
	Ｂ種優先株式	31,756	31,756,458			

(注)１．Ａ種優先株式の発行数は１株であります。また、当社定款に定められた配当額及び優先株式の累積条項に従い、前期までの累積配当額10,041千円は累積され、当期の配当額5,000千円と合わせて優先株主に対して配当いたしました。

２．Ｂ種優先株式の発行数は１株であります。また、当社定款に定められた配当額及び優先株式の累積条項に従い、前期までの累積配当額21,199千円は累積され、当期の配当額10,556千円と合わせて優先株主に対して配当いたしました。

２．基準日が第２四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第２四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

３．株主資本の著しい変動

平成25年６月27日開催の定時株主総会決議により、平成25年８月１日付で会社法第447条第１項及び第448条第１項の規定に基づき、資本金及び資本準備金を減少させ、その他資本剰余金に振替えております。この結果、資本金が155,565千円、資本準備金が155,565千円減少いたしました。

また、平成25年８月21日開催の取締役会において、Ａ種優先株式の全株式(１株)を取得及び消却することを決議し、以下のとおり実行いたしました。

①　取得及び消却した株式の数　　１株

②　株式の取得価額　　１株につき102,506,849円

③　取得及び消却した日　　平成25年９月30日

以上により、当第２四半期会計期間末においては、資本金が100,000千円、資本剰余金が209,883千円となっております。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	ＤＳＭ	和装・アパレル	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	1,474,004	1,719,310	1,724,832	1,625,707	3,486,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	53,642
計	1,474,004	1,719,310	1,724,832	1,625,707	3,540,503
セグメント利益又は損失(△)	120,471	△86,101	51,107	53,764	3,707

	報告セグメント		その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	宝飾	計				
売上高						
外部顧客への売上高	501,114	10,531,831	341,250	10,873,081	―	10,873,081
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	53,642	13,272	66,915	△66,915	―
計	501,114	10,585,473	354,522	10,939,996	△66,915	10,873,081
セグメント利益又は損失(△)	2,239	145,188	△16,980	128,207	△36,973	91,234

（注）１　その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△36,973千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△37,666千円及び棚卸資産の調整額693千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

（単位：千円）

	美容	スポーツ	ＤＳＭ	和装・アパレル	卸売	宝飾	その他	全社・消去	合計
減損損失	1,881	―	―	183	―	―	―	6,018	8,083

３．報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	ＤＳＭ	和装・アパレル	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	1,366,998	1,730,356	1,607,106	2,707,461	3,185,517
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	61,962
計	1,366,998	1,730,356	1,607,106	2,707,461	3,247,480
セグメント利益又は損失(△)	43,459	△76,298	63,849	106,068	△16,027

	報告セグメント		その他(注１)	合計	調整額(注２)	四半期連結損益計算書計上額(注３)
	宝飾	計				
売上高						
外部顧客への売上高	722,165	11,319,606	248,501	11,568,107	―	11,568,107
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	61,962	11,851	73,814	△73,814	―
計	722,165	11,381,569	260,352	11,641,922	△73,814	11,568,107
セグメント利益又は損失(△)	△4,820	116,230	△21,547	94,682	△13,024	81,658

(注) １　その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△13,024千円には、セグメント間取引消去285千円、のれん償却額△27,231千円、各報告セグメントに配分していない全社費用9,991千円及び棚卸資産の調整額3,929千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	美容	スポーツ	ＤＳＭ	和装・アパレル	卸売	宝飾	その他	全社・消去	合計
減損損失	38,532	―	―	1,816	―	553	―	―	40,901

３．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、グループ内での事業再編により、従来「卸売事業」に区分していた洋装小売部門を「和装事業」へ移管し業績管理区分の見直しを行ったことに伴い、事業セグメントの区分の変更を行っております。また従来の「和装事業」は、名称を「和装・アパレル事業」に変更しております。

なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したもの記載しております。